ファミコン必勝本 6月5日号特別付録

「新宿中央公園殺人事件」

ある朝、公園内で身元不明の死体が発見された。次々に判明する新事実。君は、探偵神宮寺とともに、事件を解決できるか!?

完全必勝捜査ノート



「新宿中央公園殺人事件」

探偵 神宮寺三郎





捜査マニュアル



この事件はオレが解決する!!

オレの名前は神宮寺三郎。新宿に事務所を構えるしがない私立探偵だ。オレみたいなヤツでもなんとか仕事にあぶれずに食っていけるのは新宿って街の持つ魔力のせいだろうか。ほーら、また事件の臭いがする。いまに淀橋署の熊野刑事から電話がかかってくるぞ。さあ、出動の用意だ。

神宮寺三郎捜査コマンド

捜査に必要なコマンドは12種類
すべてを組み合わせ謎を解くのだ。

ここにあげた12種のコマンドのほかにもうひとつ「そうさ　やめる」というのがある。ゲームを途中でやめ、セーブするときに使うものだ。ただし、ある状況のときには使う必要があるかもね……。

そうさにいく 文字通り、行ける場所へ捜査に行く。行ける場所はだんだんと増えていく。	**メモみる** 会った人に関する調査や神宮寺の評価を書いてあるメモを見る。	**おどす** 挙動不審な人物や神宮寺につっぱってくる人物に対して使うと、本当の証言をする。
ききこみ 現在、その場にいる人物に対して質問する。	**よぶ** 現在いる場所にいるべき人を呼び出すのや、どこかの場所で人を呼び出すのに使う。	**まわり　みる** まわりを見回し、おかしなことがないか観察する。
ものしらべる その場にあるものや、自分の持ちものを調べる。	**とる** 落ちているものや、その場にあるもの、または写真を撮るために使う。	**タバコ　すう** 神宮寺はときどきタバコをすうと思いもかけないことを思いつくことがある。
ひとかんさつ 現在、その場にいる人を観察し、推理、判断する。	**なにか見せる** 神宮寺が証拠として持っているものを、会っている人間に見せる。	**こくはつする** 犯人だと思った人を淀橋署、熊野刑事の前で告発し、取り調べを行う。

そのとき熊野刑事は血相を変えて飛びこんできた……事件の発端

13日のことだ、新聞に新宿中央公園で身元不明の全裸死体が発見されたという記事が載っていたのは。そのときはいずれ犯人が逮捕されるだろうと思ってあまり気に留めておかなかったのだが……。

今日、15日。オレが事務所に戻ると親友でもある淀橋署の熊野刑事がオレの帰りを首を長くしながら待っていた。例の殺人事件について、オレの知恵を借りたいというのだ…。





▲これから始まる難事件のことを知ってか知らずか洋子はほほえみながら話しかけてくる。



▲熊野はほとほと困っている様子。じゃなければ神宮寺などに事件のことを相談しにくるはずがない。

殺人事件捜査チーム

3人の力なくしては事件を解き明かすことは不可能。ひとりで動いているだけじゃない!

ゲームを進めていくのは神宮寺三郎、つまりプレイヤーであるキミ自身だ。洋子と熊野のふたりはゲーム中、三郎に適切なアドバイスをしてくれる。強力なアシスタントだ。

熊野のアドバイスはゲームの進行中、重要なところで、洋子のアドバイスは裏ともいうべきトリックの部分であることを忘れずにプレイするように。

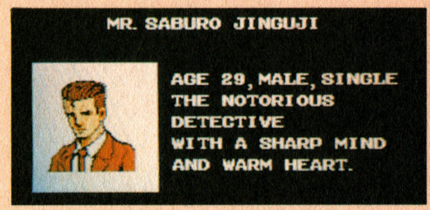
ではここの3人のプロフィールを紹介しよう。



神宮寺三郎

年齢：29歳　男性
独身
職業：私立探偵

本編の主人公。私立探偵という職業柄、物事を冷静に見るため、いつもクールなように見えるが、実はホットな心の持主だ。聡明な頭脳は誰もが認めるところで、淀橋署の熊野には絶大な信頼を受けている。



▲シャープな精神と暖かい心。相反するものを持っている神宮寺の性格。こうでなくちゃ私立探偵はつとまらない。



御苑洋子

年齢：22歳　女性
独身
職業：神宮寺の助手

神宮寺のアシスタントである彼女は、なぜこんな探偵事務所にいるのかと聞きたくなるぐらいの美人だ。頭脳も優秀で、女性ならではの観察眼で理論的にとらえ、独自の推理を打ち出す。影ながら重要な人物だ。



▲女性ならではの直感が洋子の武器。その美貌を使って男を手玉に取る、なんてことはしないのだ!?

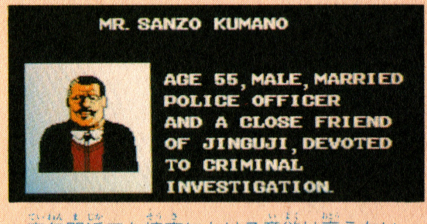


熊野参造

年齢：55歳　男性
既婚
職業：淀橋署刑事

この道一筋の大ベテラン。だが、生来のそそっかしさが災いしてか、定年が近くなった今となってもまだヒラの刑事だ。本人はそれで満足しているようだが。

神宮寺とは厚い信頼で結ばれた親友だ。



▲定年間近でも捜査にかける意欲は衰えない。昔気質の刑事だけに、今の若い連中にはうっとおしがられるかも。

被害者の身許判明"高田桃子"

高田桃子　年齢：21歳　性別：女性　職業：ホステス



▶若さと美しさをほこる21歳。なぜ殺されてしまったのか……。

新宿中央公園で絞殺死体となって発見された彼女は友人の大塚恵子の確認により「バー・イースト」に勤めるホステス、高田桃子と判明した。

美人で明るい性格の彼女はイーストでも人気のホステスで、客の中にはその死を悼む声も多い。

発見時、芝生のはがれさた土の上に全裸で倒れていた。身元を示すものはいっさいなかった。

いつ、どのようにして殺されたのか??



▲人気ホステスならではの事件か。それともなにか裏にあるのだろうか?

CHARACTER DATA & MAP

人物関係及び周辺図

捜査前に、登場する人物のデータを頭の中に入れておこう。その辺がわかっていれば確固たる証拠がなくても人物関係が見えてくるはずだ。捜査するにも的を絞って進めていけるのでだいぶ楽になるぞ。

事件に関係する人物データ

実際に画面に現れる人物は、熊野洋子をのぞいて12人。そのうち何人が容疑者になり得るのか、それは神宮寺であるキミ自身が捜査してつかむことだ。

ただ、中には警察官など、どう考えても容疑者にはならない人物もいる。こんな人に下手につっかかると私立探偵の弱みが出るので要注意のこと!



風林豪造

年齢 ?歳 不明

新宿一帯を縄ばりとする暴力団・明治組の組長。

神宮寺とは利害の一致することもあるせいか、比較的仲が良い。この事件でも重要な証言をしてくれることであろう。



大塚恵子

年齢 24歳 独身

桃子がはたらいていたバー・イーストの同僚。二人は仲がよかった。

桃子よりも年上だけあって、桃子は何かと相談を持ちかけていた。事件のあった12日夜にも桃子から電話がかかってきたらしい。



柏木大介

死亡

ガンの悪化により12日夜死亡。新宿に多くの土地を持つ大地主だった。

イーストの常連客で桃子のお客さんだった。しかし、その裏には事件の決め手となる大きな事実が隠されているらしいのだ。



大久保

年齢 ?歳 不明

新宿中央公園の管理人。死体となった桃子の第一発見者。

大久保が桃子を発見したのは13日の午前6時30分。桃子の死亡推定時刻が12日の23時30分から13日の0時30分までの間だ。



代々木一

年齢 ?歳 不明

バー・イーストの店長。桃子になにか追いめがあるらしいが……。

バー・イーストの店長だが、何かのことで金が必要だったらしく、さまざまな方面から多額の借金をしている。桃子からも借りていた。

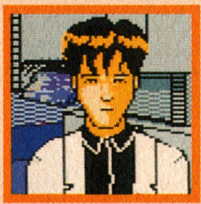


花園町子

年齢 28歳 独身

柏木大介の秘書。実質的に柏木の会社を動かしていたのは彼女だ。

柏木の手足となってはたらいていたが、その地位を利用して、何か犯罪を犯していたらしい。年下の男とつきあっていた形跡アリ。

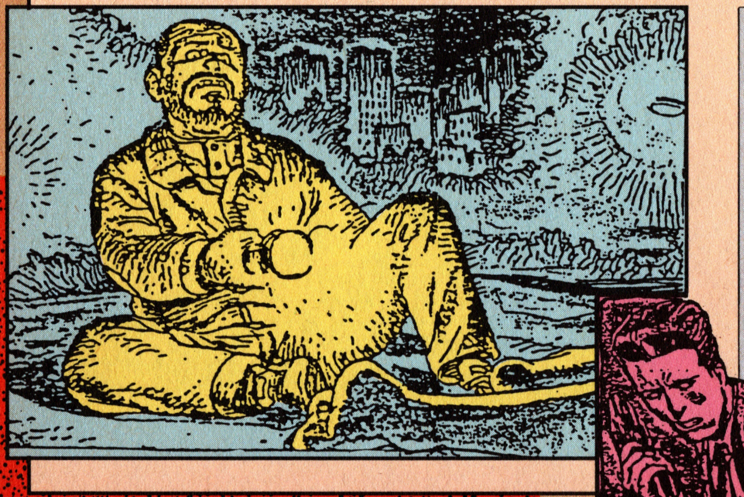


角筈一郎

年齢 25歳 独身

自称K大生。学校には行かず遊び歩いている。桃子の恋人だった。

恋人を殺すなんて動機がありませんわ、と洋子は言うが、本当に動機がないのだろうか? 行方知れずなこともあって要注意の人物だ。



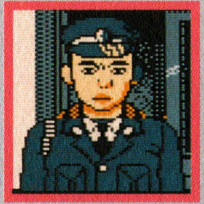


K・Oホテル



フロントマン・京玉男、地下駐車場係・阿佐谷、ルームサービス係・中野の3人が証言者として登場する。

中央公園派出所



ここの警官は数日ごとに交替する。現場を担当したのは三越、伊勢の2人だ。会って是非話を聞きたい。

K、Oホテル、派出所ともに3人の証言者が現れる。3人とも容疑者ではないようだ。

犯行現場だ！ 新宿中央公園MAP

事件が起きた新宿中央公園は全体が3ブロックに分かれている。

スクロールマップ画面では特に意味もなく、交番や犯行現場で「あたり　みる」としたときに現れる静止画面での行動が重要だ。そこいらにいる人たちも無関係とみてよろしい。



交番

神社の左上の道のところであたりを見るとそこにある。なかなか重要なポイントだ。



神社

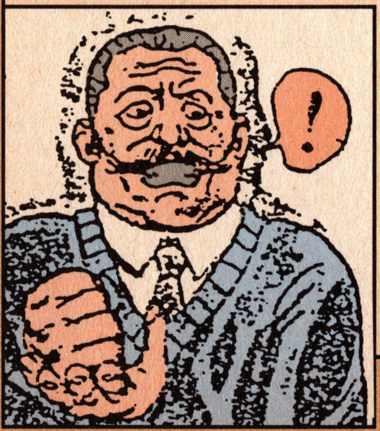
ひっそりとしたたたずまいの神社。ここにはいったい何があるのか？



犯行現場

犯行現場は芝生のはがれた土の上だが、足跡がなく、どうやって死体を運んだのか、不明。





LEVEL 1

捜査開始！人間関係を探れ

捜査の基本は人間関係の把握にある。被害者桃子とは誰が親しくしていたか、その辺りを知らなくては与えられた日数で事件を解決するのは不可能。まず、桃子のはたらいていた「バー・イースト」へ行き、同僚から聞きこめ。

action1 始まりは事務所から



暖かい陽気がふりそそぐ新宿中央公園を散歩がてら通る。オレの住むこの街、新宿は今日も喧騒のなかしっかりと機能しているようだ。そんなたわいもないことを考えながら事務所へと戻ると、そこにはコーヒーと事件がオレの帰りを待っていた。

「神宮寺君、先日、新宿中央公園で起きた殺人事件の被害者は高田桃子というホステスだと判明した。年齢は21歳、イーストというバーにつとめていた。彼女の友人、大塚恵子から出された捜査願いの特徴と一致したので身元を確認できたというわけだ。だが、それ以外のことは一切わからない。神宮寺君、手を貸してくれ」。淀橋署の刑事・熊野はまくし立てるように言った。オレは桃子と恵子に関して、聞きこみをしてみた。

▼まずは熊野から被害者、高田桃子に関する報告を受ける。すべて聞いたあと捜査に出る。



action2 バー・イーストへ行き、恵子から情報を！

熊野から話を聞いたものの、さっぱり事件は見えてこない。とりあえずオレはバー・イーストへ向かった。大塚恵子から話を聞くつもりだった。

イーストの店内はいかにも新宿のバーらしい雰囲気を漂わせていた。まだ早い時間なので客は少なく、バーテンの男と数人のホステスがひまそうにしていた。オレを迎えいれてくれたホステスが大塚恵子だった。自己紹介し、雑談を混じえながら徐々に桃子のことを聞いていく。

「桃ちゃんが人から恨みを買うなんて考えられない」。オレが桃子のことを聞くと恵子はそう言った。じゃあ何か気づいたことはないか、「そういえば柏木さんが最近こないと桃ちゃん、言ってたっけ」。柏木とは桃子が父のように慕っていた客だという。家は厚生年金会館の裏にあるらしい。オレはさっそく柏木の事務所へ行くことにした。



▶この恵子の証言から犯行動機は怨恨以外を推定できる。



▶自分の店ではたらいていた娘なのに……？ 何かある！



action3 柏木は死んでいた！

柏木の事務所へ行く前に、客から見た桃子の姿を聞こうと思い立った。あたりにいる客に桃子のことを聞くと、その内一人が面白いことを教えてくれた。イーストの店長・代々木一が桃子に金を借りているというのだ。オレは代々木を呼んで、話を聞いてみることにした。

代々木はどうも落ちつきがなく、オレの質問に対しても、否定的な答えしか帰ってこない。またそのアリバイも、友人と会っていたというだけだ。あとは何も知らないと言う。

オレは釈然としない気持ちを抱えながら柏木の事務所へ向った。



▶何か手がかりを得られるかも知れなかった柏木はすでに／

しかし、柏木はいなかった。秘書である花園町子に柏木のことを聞くと、柏木は12日の夜にガンが悪化して死んでしまったという。町子は現在この事務所を整理中らしい。また柏木は恵子の話からもわかるように大資産家だったが、身寄りがないのでその資産は弁護士が管理しているというのだ。

どうりでバー・イーストにも行けなかったはずだ。オレは新たな事実に感心しながら、町子にいくつか質問をあびせた。

だが、事件の手がかりとなるような証言はひとつも得られなかった。



▶抵抗しようと何だろうと、とにかく写真を撮る／

▼この手の女はいかにも何かありそう。徹底的に探れ／ 神宮寺／



桃子、恵子のことを聞いても面識はないようだし、念のためにアリバイを聞いてみてもK・Oホテルに泊まっていたという、かなりしっかりしたものがある。

ここで事件の手がかりを得るのは無理だ、なかば悲観的になったオレは一応町子の写真を取っておくことにした。それとともに住所を聞くのも忘れなかった。



オレはいったん熊野と相談することにした。

action4 代々木一逃亡！ 足どりを追え

淀橋所の受付で熊野を呼ぶと、待ちかねていたように熊野はすぐやってきた。桃子について情報がないか聞くと一枚の写真を渡してくれた。生前の桃子の写真だ。なるほど、人気ホステスらしい美貌と明るさを備えている。オレは何かの役に立つかと思い、一応その写真を借りることにした。



▲明らかになる代々木の素行。必ず秘密をにぎっているはずだ／

そしてもうひとつ。イーストの店長・代々木一について興味深い事実を聞かされた。新宿一帯に根を張るヤクザ、風林豪造から大金ともいえる500万もの金を借りているというのだ。その件で出頭を命じたら行方知れずだという。オレは桃子からも金を借りていたと言うと、熊野はあいかわらずせっかちなところを見せて犯人は代々木だ、と叫んだ。

スタート時の名前はパスワード。忘れるな／

ゲームスタート時に入力する名前はパスワードの役目をもっている。「ソウサ サイカイ」でゲームを続けるとき、この名前を入力しないと、セーブしたところから始めることができないんだ。間違わないように自分で覚えやすい名前を入力しておこう。例えば自分のイニシャルとか、同じ文字だけを入力しておくといいぞ。





◀決して忘れないように／

L E V E L 2

神宮寺の本領発揮!裏づけ捜査

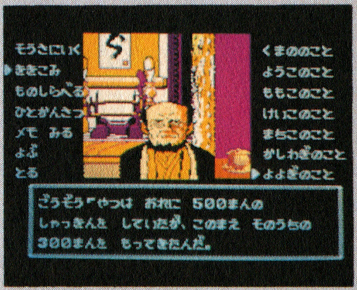
レベル1はまだまだ前段階。いよいよ、レベル2になって裏づけ取りに走るとは言ってもまだまだ事件はようやく半分を過ぎた程度。深い謎をいくつも解かなくてはならないのだ。

action5 明治組、豪造親分と会う

明治組は新宿のもっとも新宿らしい場所に、いかにもそれっぽくある。ここの親分、豪造とは日頃、探偵稼業で何度も顔を合わせており、なかなか親しい間柄となっている。事務所の前にいる三下に豪造の居場所を聞き、中に入っていった。（注：いくら豪造が神宮寺と仲がいいといっても、あたりの人に何も聞かずに中へ入ると怒って袋だたきにされてしまうので気をつけること）

熊野から聞いた話を頼りに、豪造に代々木のことを聞いてみると、「やつには500万貸してある。この前300万は持ってきたのだが、残りの200万を利子をつけて12日の夜に持ってくると言ったのに来やしねえ。こっちも探しているんだ」。

それだけ聞けばじゅうぶんだ。



◀豪造の言うことはどこまでが事実なのか?

action6 バー・イーストへ戻る

明治組を出たオレはイーストへ向かっていた。とりあえず恵子に柏木が死んだことを知らせるためだ。



恵子に柏木が死んだことを聞かせた。やはりショックを受けているようだ。頃合いを見計らって柏木の生前のことを聞くと恵子は

「あんなにいい人が死ぬなんて。いつか桃ちゃんがお母さんの話をしたら、それからずっとかわいがってくれたのに……」。

次いで町子のことを聞いてみる。イーストに来たことがあるようだ。



◀柏木の死を知らされて動揺する恵子。



◀桃子と柏木の関係がだんだんと浮き彫りになっていく。

action7 ホテルK・Oでの証言

イーストを出たオレはさっきの恵子の証言を頭の中で繰り返していた。どうして町子はイーストを知らないと言ったのだろう？

そんなことを歩きながら考えているうちにホテルK・Oについた。町子が12日に投宿したというホテルだ。フロントマンの京玉男にその時の様子を聞いてみるつもりだった。

「花園町子様は12日の22時から翌日の10時までお泊りになっていますね。お車でいらっしゃってますね」。

どうやら町子の言ったことに嘘はないようだ。



◀町子は確かにホテルK・Oに泊ったようだ。

action8 三下ヤクザが教える意外な事実

再び明治組に行き、あたりの三下ヤクザに豪造のことをたずねてみた。あいかわらず豪造は中にいるらしい。ものはついでと思い、死んだ柏木のことを聞いてみた。

「ああ、この前死んだ金持ちのひとか。なんでもうちの親分と昔、知り合いだったとか」。

ふーむ、柏木と豪造が知り合いだったとは。もしかしたら豪造は柏木のことを何か知っているかもしれない。いつもはクールなオレも、この時ばかりはなんとなく色めきたって、豪造のいる2階へ上がっていった。



▶三下のこの発言から豪造のうそが暴かれることになる。



action9 急転直下で事件は進む

やはり豪造は柏木のことを知っていた。オレが豪造に柏木のことを聞くとヤツはこう答えた。

「確かに柏木さんとは古いつき合いだ。でもカタギの人なのでめだったつき合いはしていなかったんだ。昔、柏木さんがつき合っていた女が行方知れずになってしまった。それはオレのせいなんだ。その時、その女は妊娠していた。その後どうなったのかはわからないが、無事生まれていれば20歳位かな」。





追いうちをかけるように町子のことを聞いてみる。

「柏木さんは身寄りがないので、オレも心配して何度か病院へ行ったんだ。だが、あの花園の女狐なんかほとんど来やしねえ。薄情なヤツだ。まったく」。

何か他にはないかと思って気づいたことを聞いてみた。柏木は自分の子供を探し出したらしく、誰かに探させていたとのことだ。しかし、そのことをあの代々木が知ったらしい。

一通りのことを聞いたオレはゆっくりとタバコに火をつけた。



捜査結果 犯人は果たして代々木か?

そのとき、ある考えがひらめいた。

「豪造は代々木のことを探しているはずなのにあまり焦ってはいない。もしかしたら豪造は……」。

代々木のことを聞いてみると明らかに以前とは違った言葉を返してきた。オレは豪造をおどした。

「すまねえ、代々木はもうつかまえてあるんだ。この前柏木さんの病院で会ったときにつかまえたんだ」。

オレは代々木と淀橋署へ向かった。熊野に取調べてもらうためだ。

さすが熊野の取調べは厳しい。アリバイに始まって、柏木のこと、桃子のこと、豪造のこと、ありとあらゆることを代々木はしゃべらされた。それによると、代々木は柏木の子供が桃子ということを知っており、柏木にそれをつたえに行ったとき豪造につかまったのだ。



▲取調べ室での代々木の証言にうそはない。とするとこの事件はいったい……!?

HINT

事件の核心が見えてきた

**おおかたの背後関係がようやくはっきりしてきた。
だが、まだ神宮寺の前にいくつも謎が立ちふさがる。
これから先の捜査をヒントを織りまぜながら考えてみよう。**

新宿中央公園を捜査せよ!

代々木は本当にシロなのか?



まずは、これまでの代々木の証言をもう一度思い出してみる。彼が犯人である可能性、それよりも重要なのは、犯人の動機らしきものだ。柏木の財産、桃子と柏木の関係、それにまつわる人々、さまざまな条件を結び合わせてみる。

ここまで来たらいよいよ現場検証に行ってみよう。第一発見者である大久保の意見を参考にして、殺人現場の状況を調べてみるのだ。



▶洋子の発言も非常に重要な意味を持ってくる。



▶警官・伊勢の証言は大したことなさそうでも必要。

まず、大久保から死体を発見したときの状況を語ってもらおう。時間的なことから、その日の天候、死体が置かれていた土の上の状況などを事細かに語ってくれるはずだ。

また、熊野からの監識結果の報告もあるはずだ。つまりは警察による犯行現場の調査である。

それによると、前日からの雨で土はゆるんでいたはずなのに、犯人らしい足跡はひとつもなく、どのようにして死体をあそこに運んだのか。(桃子の死因は絞殺死、つまり首を絞められて殺されていた。発見現場で殺されたなら、当然その場に足跡が残されているはず。また死亡推定時刻から考えても桃子はどこかで殺され、発見現場に捨てられたと考えるのが妥当なのではないか?)

死体が空を飛んできたとでもいうのか?

証拠も何もないこの場では犯人をあげるのは不可能だ。ならばついでとばかりに新宿中央公園を捜査してから帰ろう。交番や神社、特に交番には犯行日の警らをしていた警官がいるかもしれない。

ただし気をつけなくてはならない。深夜勤の警官は交替制になっている。

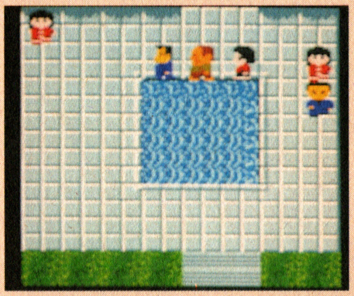
死体発見の通報を受けた警官がその日にいるかどうかはわからないのだ。もし、いないようだったらまた日を改めてから来るようにしよう。何日か通えば必ず会えるはずだ。

もし、運よく会えたなら、キミは面白いことを聞くことができるはずだ。生かしきれば事件のつながりがまたひとつ開けるはずほどの……。

広い中央公園だが、必ずどこかに事件の糸口がある。解き明かし、一刻も早い解決をめざせ。

▼しかし、動機だけわかっても、証拠がなければ、事件の解決にはならない。





◀スクロール画面では3人いっしょに動くことができる



◀大久保から発見時の辺りの状況を知れ!



角筈一郎はどこに……？

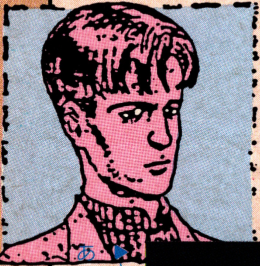


▲角筈のプロフィールに関する情報は熊野からもらうことができる。どうやらヒモ同然の男らしい。しかし行方はわからない。

後半の大きなヤマ、角筈の居場所探し。

捜査期限が近くなるころにキミがぶち当たる大きなヤマ、それが角筈一郎だ。桃子の恋人といわれながら、行方をようとしてくらましてしまった男だ。ある意味では彼の行方をつきとめることが事件の解決につながるのではないか？

角筈一郎、25歳、独身。被害者である高田桃子の恋人だ。自称K大学の学生だが、大学には行かず遊び歩いている。



これは熊野から得られた角筈に関する情報だ。これだけでは何もわからない。桃子のことを詳しく知っている恵子にも話を聞くべきだ。あんのじょう、恵子は

「桃ちゃんの恋人なんだけど、別れるようにすすめていたの。」

忠告つきで教えてくれる。

まだ恵子は角筈に関することを知っているはずだ。それが何のことか右の写真を参考にして調べてほしい。

そして、ホテルKO、バー・イースト、交番などから集めた情報と、捜査チーム内で得られる直感（例えば洋子や熊野に角筈のことを聞いてみる、タバコを吸う）を総合し、一つの推理を導き出せたとき、角筈の姿を見ることができるだろう。

全ての要素を考慮に入れた上で、全体の流れをつかみ、なおかつ地道に捜査を進めていけば、解けないと思われている謎は必ず解け、事件のすべてが明らかになるだろう……。



▶さすがホテルの駐車場係だけあって記憶力のいい阿佐谷。



▶角筈が通っているはずのK大学。しかし……。

神宮寺から一言
今後の捜査の抱負

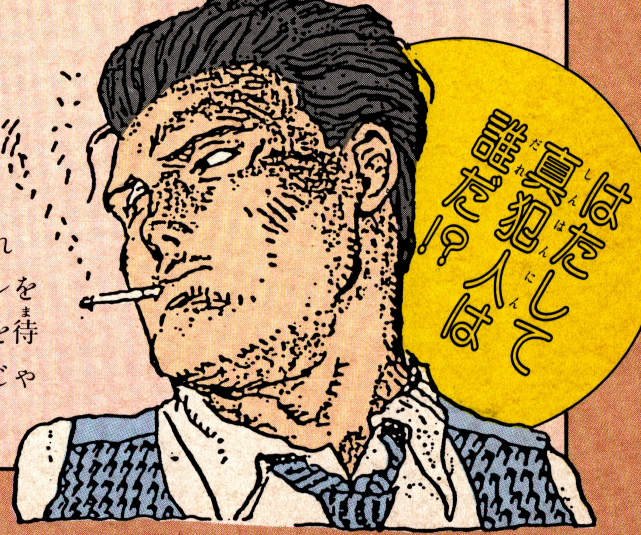
抱負なのにこんなことを言ってしまうのはちょっと何だが、正直この事件は手強い。一介の私立探偵のオレにはちょっと荷が重すぎるのかもしれない。キミの優秀な頭脳でオレを助けてくれ。一刻も早い参加を待っている。よろしく頼むぜ。じゃあオレの事務所で会おう。



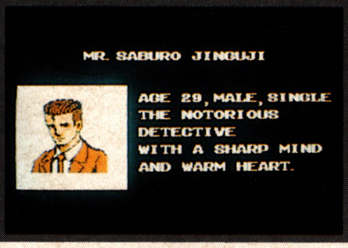
▲恵子も角筈のことを知っている。しかし、良くは思っていないようだ。



▲せっかく角筈と会うことができたのにヤツは素っ気ない。これからどうする、神宮寺！











HINT REVIEW

神宮寺三郎、御園洋子、能野参造･･･、魅力的な人間たちがゲームの世界へあなたを引きずり込んでしまう。

大人向きの本格推理AVGが登場した！

先日、新宿へ行った時のことだ。ふと「新宿中央公園殺人事件」を思い出して実際の中央公園まで足をのばしてみた。高層ビル街の谷間にぽっかりあるこの公園はいかにも何か起きそうな雰囲気を持っていた。逆に考えてみればその雰囲気を持たせるように使ってあるのが「新宿中央公園殺人事件」なのだ。

なにがそう思わせるのか。

真っ先に思い当るのが、ゲームそのものの設定が実に上手なことである。主人公、神宮寺三郎は探偵である。探偵小説に登場するシニカルで、冷静沈着、頭脳明晰な、小説ではステロタイプの探偵だ。そんな彼は新宿という特異な街にオフィスを持ち、難事件に巻きこまれていく。彼の助手として、若く美人で頭も切れる女性がいる。それにもう一人、友人でもある定年間近の老刑事。

これほどのしっかりとした設定がされているのだ。すんなりとゲームの世界に入っていけないはずがない。

グラフィックも特筆の出来と言える。登場人物を人間に見せようと努力しており、その登場人物と背景が重なったとき、ゲームの設定とマッチしたこれまでにはないタイプのリアルタッチのAVGに完成されたと言って過言ではない。

ここまで完成された世界を持っているこのゲーム、お子様にはちょっとツライかも知れない。しかし大人のファミコンユーザーには大歓迎されるだろう。

しかしながら、惜しむべき点も多い。

まずゲームシナリオの面。ゲームの雰囲気にひたってシナリオを組み立てていくのは結構なことなのだが、どうやらひたりすぎてしまっているように見受けられる。つまりストーリー展開に若干の無理があるように感じられるのだ。静止画タイプのAVGは限られた画面数で進行していかなくてはならない。そこである程度自由な発想が制限されてしまうのは仕方のないことだ。ストーリーの展開ひとつでゲームの興奮を持続していけるか単調になってしまうかが決まる。その意味ではもうひとひねりほしかった。もっとゲームの設定、背景をいかして。

そしてもっとも気になるのが、ストーリー展開とかかわってくるのだが、静止画面での神宮寺の行為にドラマが感じられないのだ。単に情報を仕入れるという目的だけでコマンドを決定しているような印象しかない。キャラクターの設定であれだけ人間臭さを出しているのに、実際にプレイするとその設定があまりいかされていないのには、メモリー上の問題はあるのだろうが、貪欲なユーザー側としては多少ガッカリさせられる。

この問題はコマンド入力式AVGではコマンド数が制限される故に、もっとも苦しいことであると思うが。

聞けばこのシリーズ「探偵 神宮寺三郎」は続編が出るとのこと。次回は新宿を離れたところで事件に巻きこまれるらしい。新宿の街が似合っていた神宮寺三郎が他の街に行ってどんな雰囲気で登場するのか、どんな街で神宮寺むきの事件が起きるのか、「新宿中央公園」で培った ノウハウを生かし、修正すべきところを修正したとき、AVGの史上に名を残す傑作になるだろう。

ファミ長者大介（ゲームファン）

昭和62年6月5日発行（毎月2回第1・第3金曜日発行）第2巻第11号通巻24号 昭和61年7月11日第3種郵便物認可